

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

| | |
|---------|--|
| グラント番号 | JPMJST2163 |
| 研究開発課題名 | 食品産業廃棄物を原料とする、海洋微生物ラビリンチュラの魚粉/魚油代替水産飼料素材への活用研究 |
| 研究代表者 | 宮崎大学 農学部 教授 林 雅弘 |

総合評価

食品残渣・廃棄物でラビリンチュラを培養し、魚粉にかわる養殖用飼料として実用化を目指すもので、一定の成果が得られる可能性は高い。現時点でも飼料としてのコスト差で既存品より良い結果が出ている。社会実装までには当該素材の受容性の検証などの課題が残るものの、基本的な品質などについての FS が適切に実施された。今後飼料は値上がりが予想されるので、本技術に期待する。事業化に向けての体制構築も進められ、今後の進展が期待できる。

以上